

九州産業大学美術館

九州産業大学では、芸術学部を中心に、美術、工芸、デザイン、写真など多くの美術品を収集してきました。九州産業大学美術館は、これらのコレクションを本学の芸術教育研究に役立てるとともに、広く一般にも公開して地域の方々の楽しみと学習に資するため、2002年4月に開館しました。

本学が有する「ひと・もの・こと」を活用しながら、展覧会だけでなく、地域の方々を対象としたワークショップなどを実施し、地域の文化芸術振興に努めています。

【開設】

2002年4月1日 開館

2002年4月26日 博物館相当施設に指定

Museum of Kyushu Sangyo University

The Museum of Kyushu Sangyo University opened in April 2002, as the first university museum in Kyushu. The museum aims to vitalize art education and research and to contribute to the promotion of local cultural and art activities through collaboration and exchange with local communities especially in northern Kyushu.

The art museum boasts a collection of approximately 1000 works covering a wide range of genres, such as painting, printing, sculpture, ceramic art, dyeing and weaving, lacquer crafts, metal crafts, design, and photography. In April 2002, the Fukuoka Prefectural Board of Education designated the museum as a "museum-equivalent institution" in terms of museum law. The museum functions as a practical facility for students in the university's curator training course.

The museum serves as a cultural center for local residents to appreciate works of art, and also holds the Creativity Education Program for children, students and seniors.

General Information

Opening hours: 10:00 to 17:00 (entrance closes at 16:30)

Closed: Mondays, Summer holidays, Year-end and New Year holidays and Exhibition change periods.

Admission: Adults / ¥200 (individual) / ¥100 (group)
Students / ¥100 (individual) / ¥50 (group)

- Senior high school students and younger people are free of charge.
- A group fee is applicable to any group of 20 or more people.
- Seniors aged 65 or over, holders of medical passbook, physical disability passbook or health and welfare passbook for the mentally disabled, as well as their caregivers, and "Wa no kai" members of the Fukuoka City Foundation for Arts and Cultural Promotion, are entitled to a reduction or an exemption from admission fees.
- Admission fees may change during special exhibitions. (Please see the [Exhibitions] on the website in Japanese.)

ご利用案内

【休館日】月曜日(夏季休業期間、年末年始、展示替え期間など)

【開館時間】10時～17時(入館は16時30分まで)

【入館料】一般:200(100)円、大学生・専門学校生:100(50)円

※()内は団体料金。20名以上からご利用いただけます。

※下記の方は無料でご観覧いただけます。

高校生以下の方、65歳以上の方、九州産業大学・九州産業大学造形短期大学部の学生・教職員、九州産業大学公開講座の受講生、学校法人中村産業学園退職者の会会員、療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・ミライIDをお持ちの方及び介護者、福岡市文化芸術振興財団「wa+club(わたくすくらぶ)」会員

※各展覧会で変更する場合があります。決まり次第HPにてお知らせいたします。

【アクセス】

●JR鹿児島本線:「九産大前」下車 徒歩5分

●西鉄バス: 天神中央郵便局前 [18Aのりば] 急行(新宮中央駅東IKEA) 徒歩5分
天神日銀前 [19Aのりば] 急行(赤間営業所) 徒歩8分

●車: 本学学生会棟北駐車場をご利用ください。

※駐車場から美術館まで徒歩約7分かかります。
移動が難しい方は正門守衛室で美術館訪問の旨お伝えください。



九州産業大学美術館
Museum of
Kyushu Sangyo University



〒813-8503 福岡市東区松香台2-3-1
tel:092-673-5160 fax:092-673-5757
Email:ksumuseum@ip.kyusan-u.ac.jp

デザイン: 芸術学部 ビジュアルデザイン学科 松石 歩乃歌

HP: <https://www.kyusan-u.ac.jp/ksumuseum/>
SNS [Facebook/X/Instagram]: @ksu_museum



2026

九州産業大学美術館 年間スケジュール

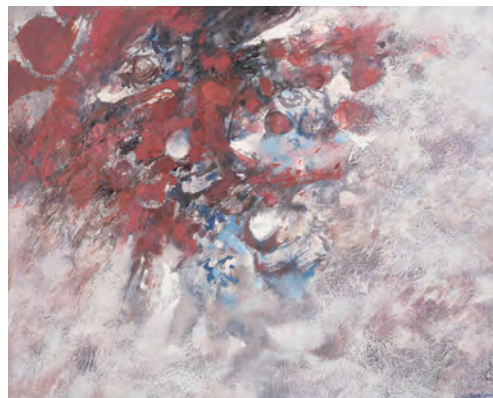
MUSEUM OF KYUSHU SANGYO UNIVERSITY

ANNUAL SCHEDULE

2026

4.1 WED → 5.24 SUN

Places: 拓く 憩う 彷徨う
— 5つのテーマで出会うコレクション —



(上) 田淵安一 《花の影》 1961年
(下) レンブラント・ファン・レイン 《レンブラントとその妻サスキア》 1636年

九州産業大学美術館のコレクションを中心に、大学美術館の学芸員および教員5名がそれぞれにその魅力を紹介するオムニバス形式の展示を試みます。本展タイトル「Places: 拓く/憩う/彷徨う」は、これら5つの展示をつなぐキーワードです。それは実在する場所、記憶の場所、あるいは空想の場所かもしれません。コレクションが織りなす多様なPlacesを感じていただければ幸いです。

2026

9.19 SAT → 11.3 TUE

歴史にすわる Part7



チャールズ・レニー・マッキントッシュ 《ヒルハウス1》 1902年

九州産業大学が所蔵する名作イスに座ることができる展示です。時代や場所、動作などのテーマを設け、イスだけではなく、関連する照明や絵画なども併せて展示します。

11/14 - 11/23 九州産業大学 芸術学部 教員作品展

5学科10専攻コースを持つ本学芸術学部、各分野を担う教員・助手による作品、研究成果を紹介します。

11/29 - 12/13 Tokyo Illustrators Society Presents Illustration Works
イラストレーターによるベストワーク展

幅広い世代が活躍する東京イラストレーターズ・ソサエティ(TIS)会員のベストワークを集結させた展覧会です。

1/8 - 1/14 九州版画プロジェクト

九州、沖縄に在住する作家・教員・大学生・高校生による「版画」作品の展覧会です。

2/19 - 2/23 九州産業大学 大学院 芸術研究科 修了作品展

令和8年度に修了する本学の大学院生による作品及び研究成果の展覧会です。

美術館でのマナー

- 作品に触れないでください
- 飲食物の持ち込みは禁止です
- 入口横の傘立てをご利用ください
- 電話の電源は切るかマナーモードに設定してください
- 館内は撮影禁止です
ご了承ください
- 大きな音は立てないよう
お願いします
- 走り回る等の行為を
禁止しております
- ペットを連れて
来館はできません
- 鉛筆以外の筆記用具でのメモは
ご遠慮ください
受付にて鉛筆の貸し出しを行なっております

主な所蔵品

- 絵画 海老原喜之助、宮本三郎、村井正誠、宇治山哲平、野見山暁治、桜井孝身、ベルナルド・ピュフェ、牛島智子 など
- 版画 レンブラント・ファン・レイン、ジョルジュ・ルオー、藤田嗣治、ヨゼフ・アルパース、浜田知明、池田満寿夫 など
- 彫刻 高田博厚、淀井敏夫、植木茂、原田新八郎、豊福知徳、土谷武宮崎準之助、澄川喜一、江口週 など
- 工芸 平良敏子、井上萬二、十四代・十五代酒井田柿右衛門、中島宏室瀬和美、鈴田滋人、中村信喬 など
- デザイン ミヒャエル・トーネット、アルヴァ・アアルト、チャールズ&レイ・イームズ、勝井三雄、磯崎新、倉俣史朗、川上元美 など
- 写真 上野彦馬、ウジェーヌ・アジェ、リゼット・モデル、植田正治、石元泰博、大辻清司、ハービー・山口、野村佐紀子 など

【順不同】

